

# スーパーでのコメ販売価格の推移

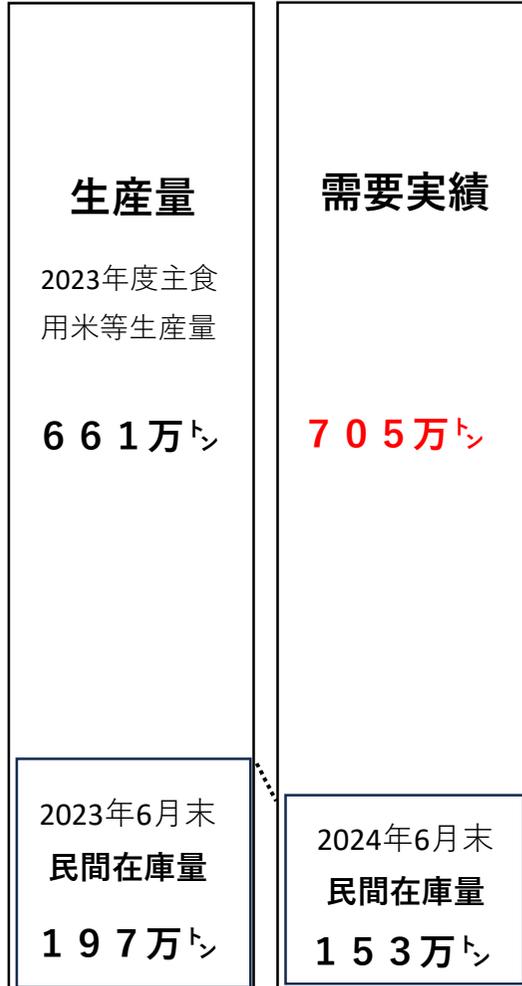
資料1

※5kgあたり、全国約1000店舗のデータから算出

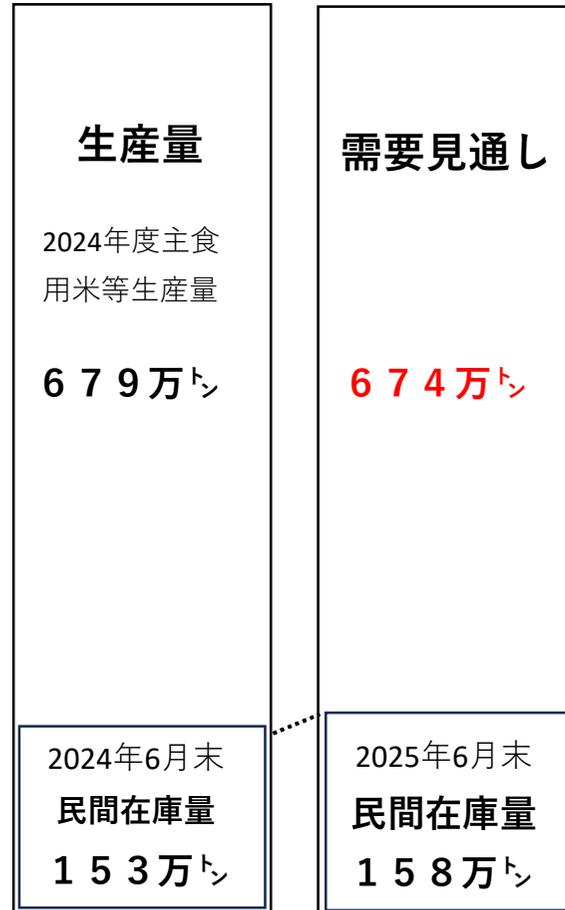


# 需要は減るとの見通しだが、消費(需要)は増えている

2023/2024年の  
需要実績



2024/2025年の  
需要見通し



→需要は31万トン減少する見通し

## 1人1か月当たり精米消費量の推移 (令和6年7月～令和7年1月)

(単位：精米g/人、%)

	1か月当たり消費量	
		対前年 同月比
令和6年7月	4,521	0.4
8月	4,505	3.6
9月	4,504	0.6
10月	4,849	0.5
11月	5,051	2.2
12月	4,790	6.8
令和7年1月	4,714	3.9

(注)四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある

→7月以降消費量(需要)は増えている

出典：(公社)米穀安定供給支援機構「コメの消費動向調査結果(令和6年12月分)」

より紙智子事務所作成

# 新米が出る前に在庫ゼロか？

資料3

全国段階の民間在庫の推移(うるち米)  
出荷+販売段階

(単位：万玄米トン)

	当年						翌年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
4 / 5 年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年比	+4	+4	▲ 15	▲ 18	▲ 21	▲ 21	▲ 20	▲ 19	▲ 20	▲ 18	▲ 19	▲ 18
5 / 6 年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年比	▲ 20	▲ 18	±0	▲ 23	▲ 26	▲ 31	▲ 32	▲ 36	▲ 37	▲ 39	▲ 40	▲ 38
6 / 7 年	82	65	149	245	260	253	230	(204)	(174)	(140)	(105)	(75)
対前年比	▲ 40	▲ 39	▲ 50	▲ 44	▲ 43	▲ 44	▲ 44	(▲40)	(▲40)	(▲40)	(▲40)	(▲40)

↑  
コメ不足

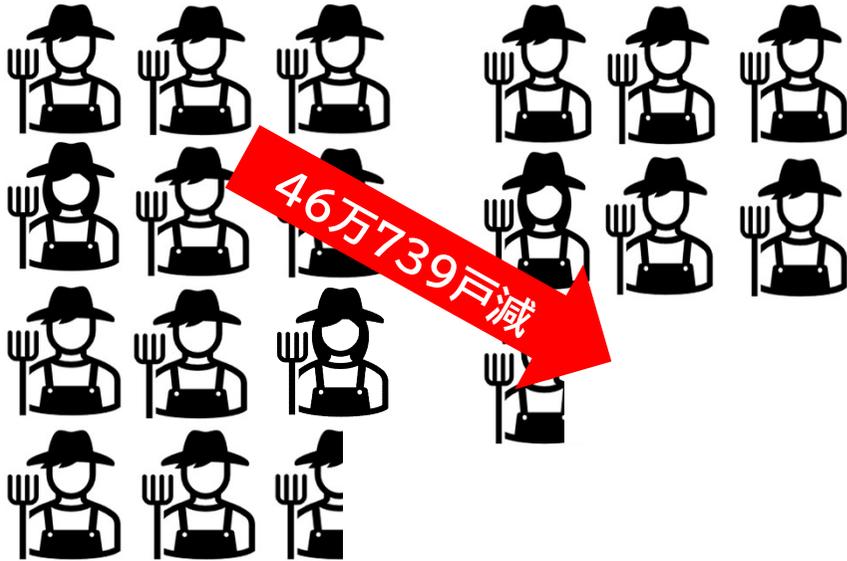
仮に一年間の前年比平均値マイナス40万玄米トンが継続した場合  
↓  
6月には75万玄米トンに！？

# コメの生産量も生産者も激減

【稲作農家戸数】

2010年  
115万9282戸

2020年  
69万8543戸



【主食用水稲作付面積】

152万<sup>㊦</sup>



2013年産

126万<sup>㊦</sup>

2024年産

【生産量】

818万<sup>㊦</sup>



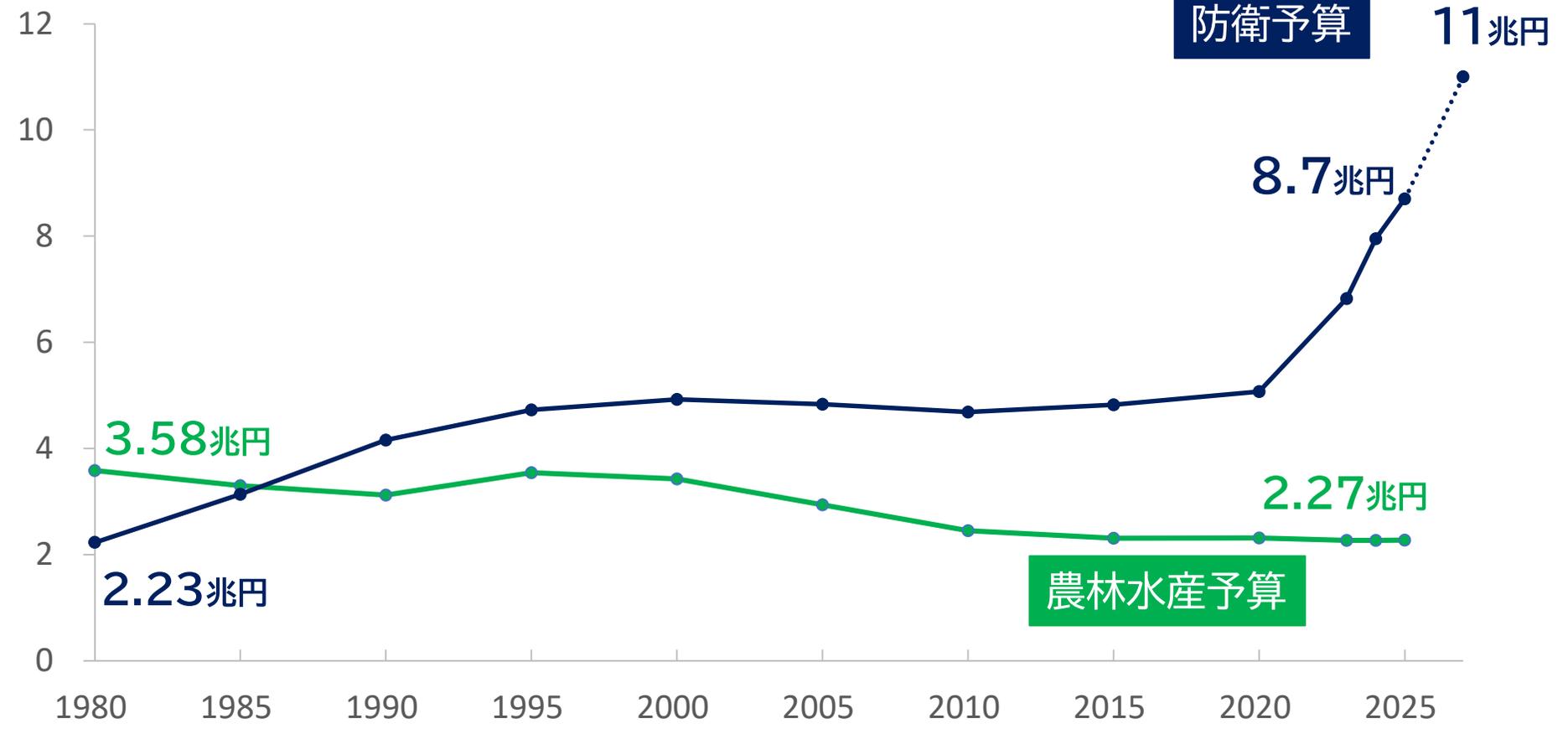
2013年産

683万<sup>㊦</sup>

2024年産

# 農林水産予算と防衛予算の推移

(単位:兆円)



出典:財務省ホームページの予算書・決算書データベースより紙智子事務所作成